



新里 明士展 Akio Niisato Exhibition

会期：2018年11月1日(木)－11月29日(木)

会場：板室温泉大黒屋サロン

会期中無休 9:00 - 17:00

作家在廊日：1日、19日、20日

アーティストトーク：11月19日(月) 20:00 - 21:00

※展示は宿泊以外の方もご覧いただけます。

板室温泉大黒屋では、2018年11月1日(木)より11月29日(木)まで、新里明士の個展を開催いたします。新里は1977年千葉県生まれ。早稲田大学第一文学部哲学科中退後2001年多治見市陶磁器意匠研究所修了。その後ファエンツァ国際陶芸展新人賞、パラミタ陶芸大賞展大賞、菊池ビエンナーレ奨励賞、MOA岡田茂吉賞新人賞など数々の賞を受賞。現在は岐阜県土岐市を拠点に制作を行い、国内の他、アメリカ、イタリア、ルーマニアなど海外でも多くの展覧会に出展、高い評価を得ています。

新里の代表作である「光器」は、光を通して文様が浮かびあがる様子を蛍の光に例えた「螢手」と呼ばれる手法を独自に発展させたものであり、うつわ自体がまるで光を帯びているかのような幻想的な表情を見せてくれます。本展では「光器」シリーズの他、インスタレーション、彫刻作品など作家自身新たな展開となる作品を中心に展示致します。ぜひご高覧ください。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。
ご質問等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

新里 明士 Akio Niisato

- 1977 千葉県生まれ
2001 多治見市陶磁器意匠研究所修了
2005 イタリア ファエンツァ国際陶芸展 新人賞
2008 パラミタ陶芸大賞展 大賞
国際陶磁器展美濃 審査員特別賞
2009 菊池ビエンナーレ 奨励賞
2011 文化庁新進芸術家海外派遣制度によりアメリカ・マサチューセッツ州にて制作
2014 MOA 岡田茂吉賞 新人賞

主な展覧会歴

- 2017 「利休にみせたい現代の茶陶」茨城県陶芸美術館、茨城
2016 「Made in Japan」ファエンツァ国際陶芸美術館、イタリア
「REVALUE NIPPON PROJECT 中田英寿が出会った日本工芸」 汐留美術館、東京
2015 「菊池寛実賞 工芸の現在」 智美術館、東京
2014 「現代・陶芸現象」茨城県陶芸美術館、茨城
2013 「現代の名碗」 智美術館、東京
2012 「Ceramics Now Exhibition, 3rd Edition」 Galateea Gallery、ブカレスト、ルーマニア
「東海現代陶芸思考する新世代展」 愛知県陶磁資料館、瀬戸、愛知
2011 「白の時代」 益子陶芸美術館 / 陶芸メッセ・益子、栃木
2010 「現代工芸への視点 - 茶事をめぐって」 東京国立近代美術館工芸館、東京
「第 1 回金沢・世界工芸トリエンナーレ」 金沢 21 世紀美術館、石川
2008 「ファエンツァ国際陶芸展」 ファエンツァ国際陶芸美術館、イタリア
2007 「京畿道 世界陶磁ビエンナーレ」 利川世界陶磁センター、イチョン、韓国
「カルージュ陶芸展」 カルージュ、スイス
2004 「非情のオブジェ」 東京国立近代美術館工芸館、東京
「MINO CERAMICS NOW」 岐阜県現代陶芸美術館、多治見、岐阜
その他、個展、グループ展多数
-